

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年4月22日

事業所番号	2774201798	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	社会福祉法人 親和会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム 末広	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	大阪府茨木市庄二丁目5番1号	評価調査日	平成 21 年 4 月 16 日
電話 072-625-6258		評価確定日	平成 21 年 4 月 24 日

【情報提供票より】 (平成21年 4月5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9 人
職員数	9人 常勤 7人 非常勤 2人 常勤換算 7.3人

(2) 建物概要

建物の	木造スレート
構造	2階建ての(1階部分)

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	45,000円	その他の経費 (月額 28,000円)
敷金	無 (	
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 500,000円	償却なし
食材料費	朝食 円 昼食 円	
	夕食 円 おやつ 円	
	または1日当たり	1,200円

(4) 利用者の概要 (4月5日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	3名	要介護2		3名	
要介護3	2名	要介護4		1名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢 平均	82才	最低	74才	最高	94才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北摂総合病院
---------	--------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

利用者は明るい表情でホームの生活を過ごしている。毎月の第2日曜日午後には家族会が開催され、職員から経過報告等を聞きながら、介護の相談や提案等の話し合いを続けている。日常生活について、ご家族はアンケートの集計結果にも表れているように、安心の様子が伺える。特に、運営者、管理者を初め職員一同は、理念の「大家族・ゆっくり・いっしょに・楽しくらし」を真摯に実行している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目：外部4) 運営者が教育事業での長年のご努力もあって、地域組織の方々の信頼もあり、又、地域の方々と交流も管理者、利用者間で積極的に進められている。職員の研修については、管理者が前向きに取り組んで計画的に進められ、職員の研修意欲をバックアップしている。緊急避難訓練は毎月、職員間で実施しており、消防署員の立会い訓練も年2回実施している 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4) 今回の評価についても、管理者、ホーム長によって仮作成された内容を、職員が評価の意義を理解した上で話し合い、今後の改善計画も含めて決定している。又、外部研修会に出席した職員の報告によって職員研修会を行い、その都度、今後の改善を検討し、より良い介護を進めるよう努力している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目：外部4、5、6) 原則的に2ヶ月毎に運営推進会議を開催しているが、主な検討内容は、ホーム側の経過と行事等の報告、福祉関係の各種情報交換等であり、更に、ホームの運営についてのご提案等もあり、改善に役立っている
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7、8) ご家族の意見、苦情は、毎月の支払い時の来訪や、定例の毎月第2日曜日で、午後からの家族会では運営者、管理者が出席し、日常の生活状況の説明と報告等を行い、介護計画の変更も含めて、詳しい説明をするし共に、ご了解を得るようにしている。ご意見等への対応は直ちに対応している
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3) 地元自治会等の各種の行事・祭り、清掃、学校行事等には参加している上、小学校の廃品回収にも協力している。地元の方々の通行の多い道路に面した箇所に、ホームの掲示板を設置し、ホーム便りや、地域間交流の案内文等の掲示をしているが、掲示板は目立つ色彩、楽しい雰囲気で作られ、通行者が立ち止まって読んでいる姿を、よく見掛ける

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営				
1 理念と共有				
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
		「大家族 ゆっくり いっしょに 楽しく くらし」の理念を玄関、スタッフ室に掲げている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
		毎月の第1土曜日、午前9時に運営者、職員の会議を開催して、理念の実践に努めている		
2 地域との支えあい				
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている		
		ホーム設立後5年を経過しているので、地域の方々や、諸団体との交流、参加が進められている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		
		運営者、管理者、ホーム長、職員一同は、それぞれ外部評価の意義を理解し、改善向上に強い意識を持っている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている		
		運営推進会議は原則的に2ヶ月ごとに開催されているが、内容は、経過報告、情報交流等で質疑応答が行われ、介護サービス向上に活かされている		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		
		市のご担当者へは、関係書類の提出等の際に訪問し、ホームの運営等について、話し合っている		
4 理念を実践するための体制				
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている		
		ご家族との交流は毎月第2土曜日の午後に家族会を開催している。席上、それぞれの利用者毎に、生活状況や体調変化などについて報告し、話し合いをしている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
		来訪時や電話等で、日々の報告を行っている上、月1回の家族会等でご意見、ご不満等を伺っており、対応は出来るだけ早く実施している。ご家族アンケートの結果では、良い関係が伺える		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新規採用の職員には、オリエンテーションを丁寧に行っている。又、その後も見習い期間として指導している。退職による利用者への影響は、ベテラン職員により最小限に留まるよう努力している		運営者・管理者はグループホーム・マニュアルを作成し、ホーム全体の基本的な介護の指針としている

5 人材の育成と支援

10	19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケア・レベルの向上について、職員の研修を重視し、新人、在籍職員別に支援して、計画的に進めている。		
11	20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他のホームとの交流の意義を理解し、それによって質の向上を図るよう配慮している		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

12	26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	問い合わせの利用者や、ご家族が、納得し安心して入所して頂けるように、デイサービスも利用してもらっている		
----	----	---	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

13	27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごししながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を職員は受持ち制とし、一緒に対等な関係で、協力し合うように努めている。		
----	----	---	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ホームでの生活では、利用者の思いを酌んだ対応にしている。状況によっては再アセスメントを行っている	○	前進できる事を期待します、利用者の出来る能力を活かした介護も進めて欲しい
----	----	---	--	---	--------------------------------------

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の様子から、適宜、職員とカンファレンスを行い、本人と、ご家族、管理者、計画作成者、更に医師のご意見も頂いて新たな計画を作成している	○	どのような些細なことも気付いた事柄を、ヒヤリハット、申し送り、その他の報告とし、改善が進められるよう努めて欲しい
----	----	--	--	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画作成者によって見直しの必要があれば、ご家族とも連絡し、カンファレンスを行って、対応するよう実施している		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の要望に応じて、施設として出来る限りの支援をしている		
----	----	---	-----------------------------------	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	出来るだけ、以前からの掛かり付けの医師から、受診をしてもらっている。24時間の緊急時の医師との連携体制も出来ている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状況に応じて、ご家族、医師の意見等で、適宜に対応している。終末の看取りの経験もあり、混乱もなく平常通り経過している		ホームの対応は、マニュアルにも指示されている

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員の中に、個人の尊厳についての研修終了者が居り、各種の配慮が進められている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設側の仕事優先ではないように、利用者の要望に出来るだけ配慮している		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の中に、食事の準備、片付けについて、差し支えない方に手伝っていただいている。食事時には低音で落ち着いたムード音楽を流している		
----	----	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○ 入浴を楽しむことができる支援			
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	決まりの入浴日時となっているが、希望があれば、ご意向沿うように配慮している。脱衣室にエアコンがあり浴室との温度差を和らげている		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

		○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来るだけ一人ひとりの希望に沿うように、楽しみごと等の支援をしている		
		○ 日常的な外出支援			
25	61	事業所の中で過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ多くの散歩を行うよう配慮している。ご家族の支援もいただいている		

(4) 安心と安全を支える支援

		○ 鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中、鍵掛けしていない		
		○ 災害対策			
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月一回避難訓練を行っている、消防署員の立会い訓練指導も、年2回実施している		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

		○ 栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量の記録管理は出来ている、水分についてはジュース類を用意して、楽しみながらの摂取も行っている		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

		○ 居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と一緒にカレンダー・掲示物を作って頂き、季節感を演出している。昼間は共用室で過ごされる方が多い		
		○ 居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は夫々、好みの家具道具類を持ち込んで、過ごしている		